

すま

2月
2019(平成31年)



『神戸市ふるさと納税』で猫助けしつ猫グッズがもらえるぼう!
『動物愛護支援事業』へのふるさと納税は、犬猫の譲渡を増やして殺処分を減らす取り組みへの支援に使われるよ!返礼品には猫グッズがいっぱい。みんな協力してほしいぼう!



知っていますか? “地域猫活動”



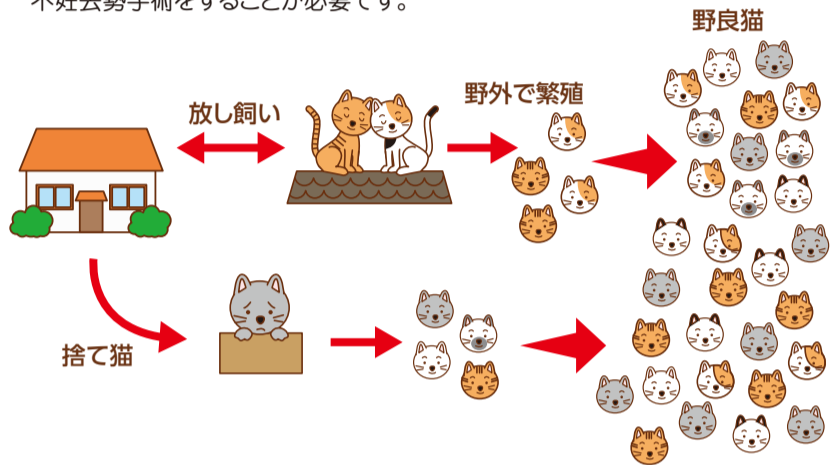
皆さんがお住まいの地域では、野良猫が問題になっていませんか。保健所には野良猫の糞などの相談が多数寄せられています。野良猫は、もとは捨て猫や放し飼いの猫が繁殖して増えたもので、そもそも人間の行動が原因です。

こうした中、平成29年4月に「神戸市人と猫との共生に関する条例」が施行され、人と猫が共に生きる社会をめざして「地域猫活動」を推進しています。

耳のV字カットは不妊去勢手術済みのしるしです
※カットは麻酔がかかった状態で行われます

猫がネズミ算式に!?

猫は年に2~3回発情し、発情期は1~2週間続きます。交尾すればほぼ確実に妊娠し、1年に2~3回出産、子猫が4~8匹ずつ産まれます。自由に交尾できる状況ではあっという間に数が増えてしまいます。そうならないように、猫に不妊去勢手術をすることが必要です。



地域猫活動とは?

地域の理解のもと、野良猫が増えないようにするために不妊去勢手術をしながら、地域でルールを決めてえさやりや糞の清掃を行い、一代限りの命を見守る活動です。

須磨区内でも多くの方が「地域猫活動」に取り組まれています。

まずは、地域猫活動団体の登録をしましょう!

- 神戸市では責任を持って地域猫活動を行う団体を増やしていくため、登録を推進しています。
- 登録団体には、責任を持って地域猫活動を行う団体である証として、腕章を交付します。



登録団体の腕章

登録は西部衛生監視事務所まで

猫を飼う方へのメッセージ

数年前、市内で引き取られた猫の殺処分率が高いと聞き、神戸市獣医師会としても何とかしなければいけないという思いがありました。特に須磨区は、住宅地の中に自然が多く、野良猫にとっても住みやすい環境にあり、とりわけ問題になっています。そのため、望まぬに生まれる不幸な猫たちが少しでも減るよう、現在、協議会の一員として不妊去勢手術等の実施に協力しています。

猫を飼う人は、家族の一員として責任を持ってお世話をし、最期まで大切に飼ってほしいです。

神戸市人と猫との共生推進協議会
神戸市獣医師会 武田 圭一 先生



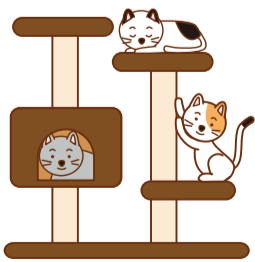
不妊去勢手術の支援が受けられます

- 神戸市人と猫との共生推進協議会では、計画的に野良猫の不妊去勢を行っています。
- 地域猫活動団体など、地域で野良猫の世話をしている皆さんが協議会の計画に基づいて野良猫の捕獲や病院への搬入等を行う場合、協議会が不妊去勢手術費用を負担します。



神戸市人と猫との共生推進協議会 ☎262-1157

室内で飼いましょう。

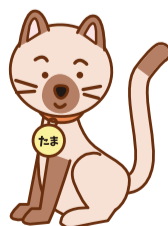


飼い猫の飼育マナー

不妊去勢手術をしましょう。



首輪を装着させ、迷子札(連絡先記入、およびマイクロチップ挿入)を付けましょう。



災害に備えて、ペット用品(避難用ケージ、リード、薬、水、ペットフード、トイレ用品など)を常備しましょう。



西部衛生監視事務所 ☎579-2660

